

静岡実験動物研究会

ニュースレター

2017.5.19 NO.16

CONTENTS

会長挨拶	1
企画委員からのお知らせ	2
平成 29 年度大会開催にあたって	4
第 45 回研究発表会演題募集	6
会報掲載原稿提出のお願い	7

研究会に関するご意見、ご要望、お問い合わせは下記まで

静岡実験動物研究会 事務局 竹原
〒437-1213 静岡県磐田市塩新田 582-2
公益財団法人食品農医薬品安全性評価センター
TEL:0538-58-3572 FAX:0538-58-3586
E-mail: hiroshi@anpyo.or.jp

■ 会長挨拶

静岡実験動物研究会 会長

静岡県立大学薬学部

石川 智久

会員各位におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

動物実験は生命科学研究を推進していくためには不可欠ですが、動物福祉の面から適正な動物実験を実施することが求められます。世界的な動物実験の基準理念である「3Rの原則」のひとつである **Refinement** は、実験方法の洗練や精度の向上を意味しますが、できる限り動物に苦痛を与えないことがその根幹にあります。動物実験の開始にあたって提出される動物実験計画書の審査を行っている中、いまだに麻酔薬の選択や人道的エンドポイントの設定に対する実験者の見識向上の必要性を感じます。特に麻酔薬に関しては、これまで広く使用されてきたペントバルビタールが「不適切な麻酔薬」と判定されたことから、代替の注射麻酔薬の模索や、気化器の導入が必要な吸入麻酔薬への切り替え等、実験者の中でも混乱が生じています。動物の苦痛軽減を第一に考え、動物麻酔薬について、また安楽死について再考する良い時期かもしれません。

こうした状況に合致して、今年度は「麻酔と鎮痛の基本」を題材とした教育セミナーを本研究会企画委員会が企画して下さいました。8月4日（金）に三島の東レ総合研修センターで開催されます。ぜひ、積極的にご参加いただき、問題を共有する機会にさせていただけたらと思います。また、9月29日（金）には、アステラス製薬株式会社・中野洋子先生のご尽力により、第47回総会及び第45回研究発表会が開催されます。静岡実験動物研究会の活性化と更なる発展は、研究発表会で多くの演題が発表され、活発な議論が行われることにかかっております。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

■ 企画委員からのお知らせ

企画担当幹事

奥村（協和発酵キリン）、柴主（科研製薬）、立部（中外医科学研究所）

一昨年「代替法シンポジウム」、昨年「環境エンリッチメントとその評価」に続き、本年度は「麻酔と鎮痛の基本」を題材に教育セミナーを企画させていただくことになりました。

麻酔や鎮痛の基本について学び直したい、との声は以前から多くありました。特に注射麻酔については、三種混合麻酔が近年広く使われているものの、原法の用量のままでは効きが悪いなど、現場ならではの悩みも聞き及んでいます。

本教育セミナーでは、動物実験でよく用いられる代表的な麻酔薬や鎮痛薬の特性を理解して、適切な麻酔薬、鎮痛薬を選択するための基本を学ぶことを目的とします。本セミナーが会員各位のスキル向上の一助となれば幸いに思います。

なお、セミナー終了後、先生方を囲み軽食付きフリーディスカッションを予定しています。

下記のとおり8月4日（金）に東レ総合研修センター（三島市）で開催しますので奮ってご参加ください。

平成 29 年度教育セミナー 「麻酔と鎮痛の基本」

日時：2017年8月4日（金） 午後

場所：東レ総合研修センター 2F 大研修室（三島駅北口から徒歩10分）

http://www.toray.co.jp/network/loc_403.html

タイムスケジュール

13:00～13:30 受付

13:30～14:30 講演1 「マウス・ラットの麻酔・鎮痛・周術期管理の基本と実際」

岡村 匡史 先生（国立国際医療研究センター、東京）

休憩 < 器材展示閲覧 30分 >

15:00～16:00 講演2 「大動物の麻酔・鎮痛・周術期管理の基本と実際」

橋本 道子 先生（アステラスリサーチテクノロジー株式会社、つくば市）

休憩 < 器材展示閲覧 15分 >

16:15～17:15 講演3 「げっ歯類への3種混合麻酔投与による血液生化学的検査値への影響」

落合雄一郎 先生（中外医科学研究所、御殿場）

休憩 < 器材展示閲覧 15分 >

17:30～19:00 軽食付きフリーディスカッション @センター棟2階 多機能室

- 参加申込
- ・ 下記、静岡実験動物研究会事務局までメールでお申込みください。
 - ・ 申込み時に軽食付きフリーディスカッションの出欠も併せてお知らせください。
 - ・ 可能な限り所属機関単位で取り纏めて申し込みをお願いします。
 - ・ 参加費は軽食含め無料です。
 - ・ 定員 84 名 参加希望者が定員に達し次第、募集を締切らせていただきます。

参加資格：当会会員 および 賛助会員（1 機関 3 名まで）

- ※ 非会員の方は事前にご入会いただき、参加申込みの程よろしく願います。
- ※ 賛助会員機関については一機関 3 名まで（個人会員に登録されていない方でも）参加可能とします。所属機関単位でのお申込みをお願いいたします。

お申込み、お問合せ先：

静岡実験動物研究会 事務局 竹原

（公財）食品農医薬品安全性評価センター

TEL：0538-58-3572 FAX：0538-58-3586

E-mail: hiroshi@anpyo.or.jp

■ 平成 29 年度大会開催にあたって

静岡実験動物研究会 平成 29 年度大会大会長
アステラス製薬株式会社 製薬技術本部 製剤研究所
中野 洋子

会員各位におかれましては時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成 29 年度大会は、平成 29 年 9 月 29 日（金）静岡県男女共同参画センター「あざれあ」におきまして、第 47 回総会および第 45 回研究発表会を合わせて開催いたします。

今回は特別講演として『マンガで学ぶ動物倫理』(化学同人)の著者である京都大学文学研究科・伊勢田哲治先生より、「人と動物のあるべき関係とは（仮）」と題してご講演をいただきます。私たちの生活に関わる動物は、人の安全・安心を保证するためや学術研究に用いられる実験動物、食用として飼育されている産業動物、生活を共にする愛玩動物、動物園で多くの人の目を楽しませてくれる展示動物など様々な役割を担っています。日常生活を送る中で動物福祉を考える時、「人」は動物とどのように関わっていくべきなのでしょう？先生と共に少し哲学してみたいと思います。

特別講演に続きましては、例年どおり日頃の研究成果や経過報告、学生会員の発表の場として研究発表会を開催いたします。大会後には、研究に関する情報交換や親交の場として懇親会の席を設けます。また、特別講演演者の伊勢田先生にもご参加をお願いしておりますので、動物倫理に関して日ごろ感じていることについて直接お話を伺うなどご活用いただけますと幸いです。

今回も交通至便な静岡市街での開催となります。会員の皆様におかれましては、非会員の方にもお声をかけるなど、是非とも多数のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

平成 29 年度大会開催案内

静岡実験動物研究会平成 29 年度大会（第 47 回総会、第 45 回研究発表会）につきましては下記の通りに予定しておりますので、ご案内いたします。

日時：平成 29 年 9 月 29 日（金）13:00～17:00

場所：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」

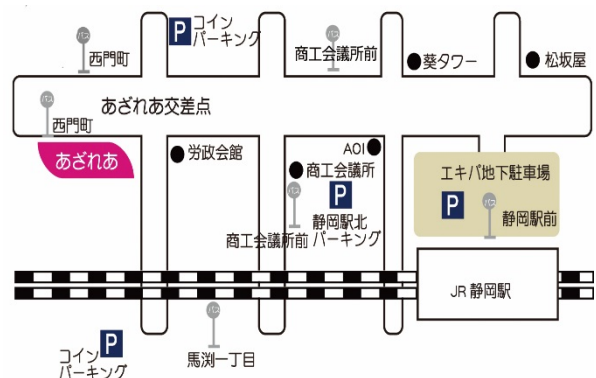
URL: <http://www.azarea-navi.jp/>

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵 1 丁目 17-1

JR 静岡駅から徒歩 9 分

参加費：2,000 円（懇親会費無料）

当日、受付にてお支払い下さるようお願い申し上げます。尚、発表者は無料となりますので受付にてお申し出下さい。



概要

総会

平成 29 年度事業報告

平成 29 年度会計報告

平成 30 年度事業計画

特別講演

京都大学 文学研究科 准教授 伊勢田哲治 先生

「人と動物のあるべき関係とは（仮）」

研究発表会

下記の演題募集要綱をご参照下さい。

懇親会

懇親会

会員相互の親睦を深めるため、研究発表会后、懇親会を予定しております。優秀発表賞（林榮一賞）の表彰式も併せて行いますので、奮ってご参加下さい。

日時 : 平成 29 年 9 月 29 日（金）18:00 開始予定 2 時間程度

場所 : 食堂 はれのひ（あざれあ 1 階）

懇親会費 : 大会参加者無料

大会に関するお問い合わせ先 :

大会（研究発表会）に関するお問い合わせは下記へお願いします。

平成 29 年度大会 担当幹事

アステラス製薬株式会社 製薬技術本部 製剤研究所

中野 洋子

TEL : 054-627-6589 FAX : 054-627-9859

E-mail : hiroko.nakano@astellas.com

■ 第 45 回研究発表会演題募集

静岡実験動物研究会第 45 回研究発表会の一般演題を下記の要綱にて募集いたします。奮ってご応募下さい。発表時に 35 才未満の発表者を対象とし、優秀発表賞（林榮一賞）を表彰しております。

発表形式： 口演 （発表 8 分、質疑応答 2 分）

*応募演題数によっては発表時間を変更させて頂く場合がございます。予めご了承下さい。

スライド形式： MS-Power Point (ppt/pptx) Mac or Windows

募集要綱： ①演題名、②発表者氏名、③共同研究者名、④所属、⑤連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）、⑥会員区分（会員／非会員）、⑦発表時（9 月 29 日）の年齢、⑧要旨（作成ソフトは可能な限り MS-Word をご使用頂き、A4 用紙 1 枚に作成下さい。）上記、①～⑧を下記申し込み先に E-mail（メール添付）あるいは郵送にてお送り下さい。E-mail の件名は「静岡実験動物研究会演題申し込み（発表者氏名）」をお願いします。

応募締切： 平成 29 年 8 月 18 日（金）

申し込み先： 〒425-0072 焼津市大住 180
アステラス製薬株式会社 製薬技術本部 製剤研究所
中野 洋子
TEL：054-627-6589 FAX：054-627-9859
E-mail：hiroko.nakano@astellas.com

■ 会報掲載原稿提出のお願い

第 45 回研究発表会の発表内容を静岡実験動物研究会会報に掲載させていただきますので、発表者は下記要領に従って会報掲載原稿の作成および提出をお願いします。

<会報原稿作成要領>

- 1) 原稿の長さは、図表を含めて A4 刷り上り 2 ページを目処としております。1 ページあたり 2024 字を目安にして下さい。
- 2) 刷り上りのイメージ、引用文献の記載方法、その他体裁等は、会報 40 巻（2015）の一般抄録および巻末の投稿規程をご参照下さい。
- 3) 文章、図、写真、表は次のファイル形式で作成して下さい。
文章： Microsoft Word(doc)あるいはテキスト(txt)ファイル
図・写真： Microsoft PowerPoint(ppt)あるいは jpeg ファイル
表： Microsoft Excel(xls)、Word(doc)あるいは PowerPoint(ppt)
- 4) 文章中には、図・写真および表の挿入箇所を入れて下さい。文章中に図・写真および表を挿入した原稿を作成して頂いても結構ですが、刷り上りの書式に整えていただく必要はございません。
- 5) 演題抄録の末尾に著者プロフィールを掲載しますので、著者名、略歴、主な研究、抱負、趣味、座右の銘など簡略に記載願います（必須ではありません）。体裁は会報 40 巻（2015）の一般演題抄録をご参照下さい。
- 6) 原稿の提出は、2017 年 12 月 22 日（金）までをお願いします。
- 7) 原稿の提出は、原稿ファイルの E-mail 添付、原稿ファイルを保存した CD-ROM 並びに印刷された原稿のご郵送のいずれかでお受けします。
- 8) 原稿の送付および原稿に関するお問い合わせは下記までをお願いします。

静岡実験動物研究会 会報担当

寺田めぐみ

クミアイ化学工業㈱

〒439-0031 静岡県菊川市加茂 3360

TEL : 0537-35-3156(代)、FAX : 0537-36-3718

E-mail : m-terada@kumiai-chem.co.jp